

# 左官技能試験（実技）教本

## 1. 実技課題に含まれる技能の内容

作業を行う上で以下の①～③に留意して作業すること。

### ①実技課題に含まれる技能

- ・簡単な墨出しができること。
- ・こてとこて板を手際よく使用できること。
- ・こてを使用して下塗り、上塗りができること。

### ②墨出しの手順

- ・つぼ糸を軽子に2～3回巻いて（左側の柱などに墨を打つ場合は左巻きに）針先を5 mm程度残し、軽子を基点の上に刺す。
- ・墨さしで墨つぼのつぼ綿を軽く押さえ引き伸ばし、捨て墨をした後、糸をもう一方の基点にあてる。
- ・つぼ糸を打ち面に対して直角に持ち上げ、墨が鮮明になるように打つ。

### ③工具類 各種工具の用途を理解し、適切に使用できること。

- ・中塗りごて：セメントモルタルを塗り付けるために使用する。
- ・れんがごて：材料の練り合わせと材料をこて板に移すために使用する。
- ・きりつけごて：入隅の仕上げに使用する。

## 2. 注意すること

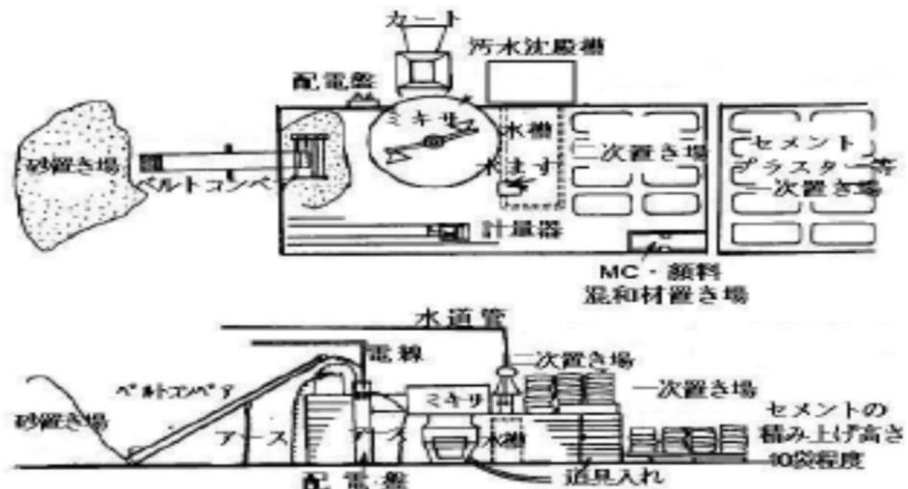
### 1) 練り場

①左官用ミキサーを取付ける場合、材料置き台は左官用ミキサーの天端より20～30cm下げ、セメントなら100～120袋程度積めるように堅固に作る。

②電源が必要な場合は専門家に工事を頼み、使用上の注意を受け、アースは完全に取付ける。

③モルタルポンプなどを使用する場合は特に排水をよくする

④清掃水洗によって生じる排水中にはセメント分を多量に含んでおり、そのまま放水すると下水管のつまりや汚染を起こすので、不純物を沈殿・排除する活水沈殿槽を設け排水する。



解説図 2-9 一般的な練り場の配置(例)

## 2) 服装

### ① 建築職場（現場）の作業服装は

仕事がしやすく、災害から身を

守るような服装であることが

第一要件である。

### ② だらしない服装は、災害を

起こす原因となる。



## 3) 保護帽

- ① 正しい保護帽のかぶり方は、保護帽と頭頂の間隔を25mm程度に保つようハンモックを調整し、あごひもはあごにきちんと結ぶ。

## 4) 安全帯（命綱）

- ① 高所作業では、墜落事故防止のため安全帯（命綱）を使用しなければならぬ。

## 3. 左官道具・工具

### 1) 鏝の形状

① 鑊は用途によっていろいろな「かたち」のものがある。

② 剣先が三角形になっている。鑊の柄は、その取り付けたところによって  
中首、元首の二通りがある。

・ 中首鑊：柄が鑊の一番力が入る重心に主要首が取り付けられている。



・ 元首鑊：主要首が鑊じりに付けられ、柄の前方に主要首がある



2) 試験に使用する道具



①中塗りごて

セメントモルタルを塗り付けるために使用する。



②れんがごて

材料の練り合わせと材料をこて板に移すために使用する。



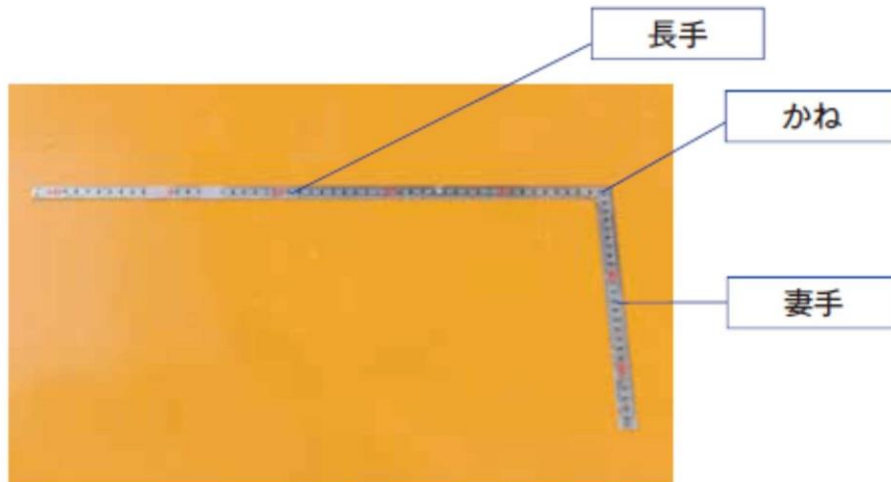
③きりつけごて

入隅の仕上げに使用する。

④墨つぼは、ちり、切りつけなどの塗り厚を定める基準線を示す工具として用いる。



⑤ 金尺 (さし金) は、各種の寸法を図るほか、梁、柱、巾木などの直角、円型の基準の測定に用いられる。



⑥ ちりぼうき

ちりぼうきは、主にちりふきに用いる。しゅろ、又パームは稲穂などで作られている。





### 3) 混練り機こんねりきかい械

① ポータミキサーほーたみきさーは、塗ぬりり材ざいを混練こんねりりする機き械かいである。

② モルタルもるとるのほか、プぶラらスすターたー類るい、漆しっくい喰くまたは荒あら土つちなど、すすささ（すき）を混こん入ゆうした材ざい料りょうでも均きん一いつに練ねりりああわわすことを目的もくてきに製せい作さくされていいて、その形けい式しきに

は、高こう速そく・万ばん能のう・スすテてンれスす・プぷラらスすチちツつクく・横よこ型がた・自じ動どう・ロろーらー

ベべビびーみキきサさートう等とうがある

③ 動どう力りょくはモもーたーとエえんジんの2しゅるい種しゅるい類があり、ドどラらム、シしャやフふトが垂すい直ちよくに

回かいてん転かくし、攪かく拌はん羽は根ねがドどラらムの中なかで回かいてん転かくするようになっなっていいるミキサーもある。

 <p>モルタルミキサー</p>	 <p>グラウト用高速ミキサー</p>	 <p>ステンレスミキサー</p>	 <p>横型ミキサー</p>
<p>解説図 4-24 モルタルミキサー（以上マゼラー提供）</p>			

はんそうきかい  
4) 搬送機械

①モルタルポンプ

・ミキサーで練られた塗り材をホッパーに受け、圧送ポンプの力をかりてホースを通り、使用場所に吐出させる仕組みになっている。

・種類は、スクイズ・ピストン・スネーク方式等があり、動力は、モーターとエンジンとがある。

・各種吹付け材、モルタルなどの吹付け施工に使われる機械がポンプ式吹付け機である。

